

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全・防災 ☐ 維持管理 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	L E D 警告灯 E ー フ レ ア	担当部署	営業本部 販売事業部 製品販売課
NETIS登録番号		担当者	本徳
社名等	西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社	電話番号	082-532-1436
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 発煙筒と同等の視認性のある注意喚起ツールとして開発。 工事規制用ラバーコーンの頭部へ、あるいは、工事用車両及び点検車両等の周囲に設置又は手で持つことで注意喚起を行うことができる。 2. 技術の内容 【構造】68×66×265mm 円筒部φ 40 ・充電タイプ:約530g・乾電池タイプ:約510g 【発光部】 発光色 赤・青（各色専用品） 光度 赤色発光:約750カンデラ・青色発光:350カンデラ （参考規格 自動車用発煙筒:140カンデラ以上） 連続発光時間 約18時間 タイマー機能 15分後OFF・30分後OFFの2段階 【電源】 充電タイプ ニッケル水素電池 単3×4本使用 （電池残量表示付・専用充電器にて約10時間で満充電） 乾電池タイプ アルカリ電池を推奨 単3×4本使用 3. 技術の効果 視認性の高いLEDを使用することでより効果的な注意喚起が可能。 点灯・点滅の切り替えによる発光のコントロールが可能。 火気を使用しない為、路面への損傷を防ぎ、安全。 充電による繰返しの使用が可能で、廃棄物の削減が可能。 本体背面の磁石により、車両等への設置が可能。 ラバーコーンの頭部にも設置が可能。 4. 技術の適用範囲 道路上における工事、点検等及び緊急時の注意喚起。 5. 活用実績 国の機関 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 自治体 0 件（九州 0件 、九州以外 0件 ） 民 間 210 本（九州 0件 、九州以外 210本 ）		

6. 写真・図・表



【背面磁石を利用した例】



【ラバーコーン頭部へ取り付け例】

